

安曇野には豊かな産業や文化の源となる河川や水路が多く流れています。西側地域は、烏川や中房川によって作られた複合扇状地と河川の周りに作られた氾濫原が広がっています。また、高瀬川、穂高川、犀川は押野崎と呼ばれる三川合流で一本の流れになり、犀川・千曲川・信濃川と名前を変えて日本海へ注ぎます。

河川や水路は、私たちの日常生活を支えている反面、大雨や台風の際には水害として生活を脅かす危険性があります。過去の水害などを教訓に市では、国や県などの関係機関と協力し流域治水の取り組みや災害への備えを行っています。

しかし近年、数時間にわたって局地的な豪雨が起る線状降水帯の発生やゲリラ豪雨などによって過去に経験したことのない水害が全国各地で発生しています。特に大雨が多くなるこれからの季節は、市内でも内水氾濫や土砂災害が起こる可能性が高まります。今月号では、いざというときのために家庭できる備えをインタビューとともに紹介します。

内水氾濫とは？

住宅地などに降った雨が河川等に排水できずに発生する現象を内水氾濫といいます。これにより家屋や耕地などが浸水する被害を内水被害といいます。内水氾濫を防止・軽減する主な対策として、雨水貯留施設の整備や排水ポンプでくみ上げ川に排水するなどの方法があります。



本川や支川の水位が高くなった時などに雨水が排水できず、水路等から雨水があふれます。

樋門・樋管とは？

堤防の中に水路を通し、逆流防止用のゲートを付けた施設のことです。堤防の居住地側の雨水や水田の水などが大きな川に合流する場合、合流する川の水位が高くなった時に水が居住地側に逆流しないようにする機能があります。



下押野樋門

注目情報①

秋開始接種

新型コロナワクチン接種情報 (8月4日時点)



令和5年「秋開始接種」が9月から実施される予定です。詳細は、国から詳しい内容が発表され次第、市HPなどでお知らせします。

- 対象
初回接種(1・2回目接種)を終了した5歳以上の人
- 予約・接種開始日
市HPなどでお知らせします。
※接種券到着後はコールセンターへの電話につながりにくい場合があります。少し時間をおいて予約をお願いします。
- 使用するワクチン
オミクロン株 XBB.1.5 対応1価ワクチン (予定)
- 接種券の発送
▷送付した全ての接種券で接種が終了している人
9月以降、接種できる時期に合わせて順次発送する予定です。
▷3回目以降の未使用の接種券をお持ちの人
お手持ちの接種券で予約・接種ができます。(新たに案内通知や接種券は送付しません)
▷3回目以降の追加接種用接種券を紛失した場合
ながの電子申請サービス(右記2次元コード)で再発行申請または健康推進課へ問い合わせください。
- 問い合わせ
健康推進課 Tel.71-2470



ご注意ください

- 「春開始接種」は9月19日まで:対象は重症化リスクの高い人(65歳以上、基礎疾患のある5歳~64歳)、医療機関・高齢者施設などの従事者です。
- 初回接種(5歳以上)、乳幼児接種(生後6か月から4歳)は令和6年3月31日までです。

注目情報②

~知事が安曇野へやってくる~

知事との県民対話集会

問政策経営課 Tel.71-2401



「対話と共創」の県政を推進する阿部知事が、県民の皆さんと語り合う「知事との県民対話集会」を開催します。知事と対話ができる貴重な機会ですのでぜひご参加ください。

- 日時 9月9日(土) 午前10時30分~正午
- 場所 市役所4階大会議室
- テーマ 移住者に選ばれ続ける信州安曇野
- 定員 80人(先着順)
- 申し込み 9月4日(月)までに電話または、ながの電子申請サービス(上記2次元コード)で



「しあわせ信州創造プラン3.0」(2023~2027年度)を策定しました

県では、総合5か年計画である「しあわせ信州創造プラン3.0」を策定しました。あわせて、松本地域がめざす姿や、重点的に取り組む政策を示した「松本地域計画」を策定しています。

しあわせ信州創造 検索

INFORMATION ~いざというときのために~

防災マップで浸水想定区域図の確認を！



河川が氾濫した場合に想定される浸水の深さと範囲を色分けして示したものが浸水想定区域図です。安全な避難のために防災マップでお住まいの場所や職場などをあらかじめ確認することをおすすめします。

浸水想定区域図は
あづみのマップからも確認できます



マイ・タイムラインを作成しよう

マイ・タイムラインとは、台風や大雨などの風水害時に家族構成や生活状況に合わせて、「いつ」「誰が」「何を」するのかを発災前にあらかじめ考えておく防災行動計画のことです。いざという時に慌ててしまわないために事前に避難行動を整理しておくことで安心です。

問危機管理課 Tel.71-2119

マイ・タイムラインシートはこちらから



INTERVIEW

日常の備えと最新情報の確認が身を守るための鍵

千曲川河川事務所では、「千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムライン」の運用を令和2年9月から開始しました。流域全体で危機感を共有し早期の対応を実施できる体制を93の防災機関(国・県・自治体等)で構築しています。

また、「マイ・タイムライン」については、住民の皆さん向けに講習会を開き、作成支援をしています。さらに、身近な雨の状況、川の水位や河川のライブカメラ映像などをリアルタイムでお知らせするウェブサイトの活用を推進しています。

水害は、地震などとは違い、気象情報や川の情報などをリアルタイムに入手することができます。最新の情報を確認し、行動することが大切です。

ライブ映像 川の水位情報



国土交通省北陸地方整備局
千曲川河川事務所
小林 拓海さん

